

令和 6 年度の取組結果一覧

山陰線WT

令和6年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
「乗って守ろう！竹野駅ペイ」の実施	竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券(100円/1枚)を配布	3,954千円	竹野地域公共交通利用促進委員会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月～2月 【実施状況・課題】 12月23日35,000枚配布完了、換金率約94.4%(3月末時点) 【今後の展開】 来年度は7月末まで継続して実施			●		
【新】トライやる・ウィーク交通費支援	トライやる・ウィークにおいて、体験活動先の事業所へ移動する際の公共交通機関を利用した際の費用を支援	436千円	豊岡市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 5月～6月 【実施状況・課題】 延べ93名の生徒が利用(JR24名、路線バス61名、市営バス8名) 【今後の展開】 来年度も継続して実施予定			●		
竹野駅乗車券類等簡易委託販売業務	竹野駅での乗車券類の販売、日常清掃業務、利用者の利便性向上に資する業務	2,280千円	豊岡市 (一社)たけの観光協会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月～3月 【実施状況・課題】 2024年度の乗車券類実績がコロナ禍前の2019年度実績と比較し104%増となった。 【今後の展開】 今後も継続して実施予定			●		

令和6年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
市職員公共交通利用	市職員の市内移動、域内出張に公共交通機関を利用	300千円	豊岡市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月～3月 【実施状況・課題】 利用：165件延べ264名(3月末時点) 【今後の展開】 今後も継続して実施予定			●		
e通勤プロジェクト	公共交通機関を利用した通勤の推奨	—	豊岡市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月～3月 【実施状況・課題】 367名 対象者の24.2%(3月末時点) 【今後の展開】 今後も継続して実施予定			●		
募集型企画旅行の実施	地元住民を対象に特急列車を利用した募集型企画旅行を月1回程度実施	—	竹野駅を愛する会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月～3月現在 【実施状況・課題】 参加者：294名(3月末時点) 【今後の展開】 今後も継続して実施予定				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】自動運転バス実証実験	自動運転バスの導入により新たな交通体系の在り方を検討	80,000千円	養父市 BOLDLY(株) 全但バス(株) やぶ市観光協会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 利用人数：延べ598人</p> <p>【期間】 1月27日～3月31日</p> <p>【実施状況・課題】 利用者の約9割が「自動運転バスを再度利用したい」と回答するなど、好意的な意見を多くいただいた</p> <p>【今後の展開】 令和7年度は車両を増やし、運行ルートを道の駅ようか但馬蔵まで延長することを計画しており、日常利用に加えて観光利用の必要性などを検証する。</p>			●		
養父市関宮小さな拠点づくり 共創プラットフォーム事業	市が進める「関宮小さな拠点」を、地域の移動手段と路線バスとの結節点として運用することを想定し、旧関宮地域の交通体系を検討する中で、デマンド交通実証実験を実施	20,573千円 (予算総額) 3,191千円 (養父市負担分)	養父市 交通事業者等			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 利用件数：108件、利用人数 延べ233人</p> <p>【期間】 10月26日～12月1日(37日間)</p> <p>【実施状況・課題】 「自分の時間に合わせて利用ができ助かる」など実験に対し好意的な意見が多かった。今後、路線バスへの乗換抵抗の低減や利用料金設定に向けた検討が必要</p> <p>【今後の展開】 令和7年度も実証実験を継続し、実装に向け有償での実験を計画</p>			●		
【新】やぶくる運行エリア拡大	大屋・関宮地域のどちらかを発着地点として、八鹿・養父地域に存在する6つのスポット(JR八鹿駅、公立八鹿病院など)までの運行を開始	—	NPO法人養父市 マイカー運送ネットワーク			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 利用人数：延べ790人(令和5年度実績：400人)</p> <p>【期間】 4月1日～スポット運行開始</p> <p>【実施状況・課題】 エリア拡大により、利用人数は対前年度比で約2倍に増加したが、スポット利用の多くは病院となっており、JR八鹿駅利用はまだ限定的な状況</p> <p>【今後の展開】 更なる利用者増に向け、引き続き広報周知に努める。</p>			●		

令和6年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
鉄道利用促進助成事業	香住町在住者が町内5駅を発着として2名以上で往復する場合の利用料金の半額を助成	2,000千円	香美町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】申請：177件、利用者：393名、助成金：約1,205千円(3月末時点)</p> <p>【期間】4月1日～3月31日</p> <p>【実施状況・課題】昨年度と同程度の利用となっている。</p> <p>【今後の展開】町民への周知を行い利用者の増加を図る。</p>			●		
鉄道往復利用支援事業	浜坂駅を発着駅として豊岡(城崎温泉)駅又は鳥取駅を往復利用時の片道乗車券とハルヒ配布	130千円	新温泉町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】利用者：延べ75名(令和5年度利用者：延べ133名)</p> <p>【期間】7月27日、8月3日、8月18日、9月23日(計4日実施)</p> <p>【実施状況・課題】町民に対し、鉄道の魅力をアピールすることができた。</p> <p>【今後の展開】出かけやすい時期に実施する等、事業実施時期を再検討する。</p>			●		
職員公共交通利用出張事業	職員が出張を行う際に、公共交通を利用（鉄道、航空機、高速バス）することで公共交通の利用促進を図る。	1,466千円	新温泉町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】利用者：延べ202名(令和5年度：166名)</p> <p>【期間】令和6年度</p> <p>【実施状況・課題】町職員の出張に伴う鉄道利用促進に寄与することができた。</p> <p>【今後の展開】引き続き事業継続するとともに、町職員に対し積極的な利用を呼びかける。</p>			●		

令和6年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】特急はまかぜ「ちょい乗り」事業	10人以内の町民が浜坂駅から鳥取駅まで特急はまかぜ号を利用する場合に片道分の乗車券を配布	129千円	新温泉町			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 利用者：延べ43名 【期間】 7月27日、8月3日、8月18日、9月23日(計4日実施) 【実施状況・課題】 町民に対し、特急はまかぜの良さをアピールすることができた。 【今後の展開】 事業実施時期およびより利用しやすい仕組みづくりを検討する。			●		
【新】鉄道往復団体利用支援事業	10人以上20人以内で町民の方のみの団体が浜坂駅を発着駅として豊岡(城崎温泉)駅または鳥取駅までの間を往復利用した場合に片道分の乗車券を配布	130千円 <small>※鉄道往復利用支援事業と同予算</small>	新温泉町			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 利用団体：1団体(10名、8月21日利用) 【期間】 8月1日～31日のうち利用希望日 【実施状況・課題】 利用者ターゲットとしていた子ども会行事としての団体利用があり、鉄道の良さをアピールすることができた。 【今後の展開】 事業実施時期及び利用しやすい仕組みづくりを検討する。			●		
町民ふれあいの旅事業	特急はまかぜを利用した町民ふれあいの旅(特急はまかぜで行く金刀比羅宮と善通寺参拝琴平温泉2日間の旅)	430千円	マクトラバルサービス 新温泉町			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 参加者：27名(令和5年度参加者：35名) 【期間】 6月14日～15日 【実施状況・課題】 香川県に行き、町民の親睦および鉄道の利用促進を図ることができた。 【今後の展開】 費用対効果等を考慮し、事業継続か否かを検討する。			●		

令和6年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
特急はまかぜ利用助成金交付事業	町民が特急はまかぜを利用時の乗車券等の運賃を助成	1,050千円	新温泉町			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 利用者：延べ344名 (令和5年度時点利用者：延べ424名) 【期間】 令和6年度 【実施状況・課題】 町民が移動手段で鉄道(特急はまかぜ)を選択するきっかけとなった。 【今後の展開】 新規利用者を確保できるよう、広報・周知に努める。			●		
【新】新たな移動手段の検討 (デマンド型乗合交通の導入) (播但線再掲)	市内公共交通の利便性向上と鉄道や路線バスからの2次交通の充実を図るため、市内全域でデマンド型乗合交通を段階的に導入	76,247千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 市内全域で段階的に導入 【今後の展開】 鉄道からの2次交通として、幅広い利用に繋がるよう周知を進める。			●	●	●
【新】和田山駅利便性向上委託事業 (播但線再掲)	和田山駅の南北をつなぐ自由通路の概略設計と和田山駅前ロータリーの利便性向上の検討	15,000千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 概略設計等の実施 【今後の展開】 引き続き事業実施を行う。			●		●

令和6年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
WESTERへの情報集約	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して情報発信	—	JR西日本 各自治体			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 登録スポット数 91件、登録イベント数 83件（11月時点：47件） 【期間】 通年 【実施状況・課題】 登録イベント数は好調に増えている。 【今後の展開】 JRとしては引き続き、イベント等を通じてWESTER新規DL数を増やす。				●	
兵庫県但馬キャンペーン ひょうこと巡る山陰線・播但線の旅	駅と主要観光地のデジタルスタンプラリーの実施及び期間中に但馬をイメージしたキャラクター等のラッピング列車を運行	—	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会 JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 参加者：8,825名 【期間】 2月23日～9月23日 【実施状況・課題】 観光地訪問者：39,239名 ユーザー属性：関東28.6%、中部12.3%、関西43% 等				●	
兵庫DCアフターキャンペーン	JR西日本と沿線自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン	—	JR西日本 各自治体			
(実施結果・今後の展開等)	【期間】 7月1日～9月30日 【実施状況・課題】 デジタルパスやJR西日本エリアでの広域的な展開を実施				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
サイコロきっぷ	大阪駅からサイコロの出目で決まる着地までの往復JRローカル線普通車指定席(新幹線・特急列車)が利用できる商品	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 城崎温泉駅へ約3,700名が利用</p> <p>【期間】 5月24日～7月11日</p> <p>【実施状況・課題】 新聞やテレビに取り上げられ話題となった。</p> <p>【今後の展開】 現時点で今後の発売予定はない。</p>				●	
【新】 はなあかりの運行 (かにカニはまかぜ増結)	臨時特急「かにカニはまかぜ」に沿線地域の工芸品・アート作品を展示した観光列車「はなあかり」を増結	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】 1月6日～3月14日 ※木曜日除く。</p> <p>【実施状況・課題】 新聞やテレビに取り上げられ話題作りができています。</p> <p>【今後の展開】 観光列車等を通じて、地域の魅力を発信していく。</p>				●	
【新】 「こうのとりのとり」ラッピング列車	かにをデザインした特急ラッピング列車を運行	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <p>【期間】 11月7日～3月頃</p> <p>【実施状況・課題】 新聞やテレビに取り上げられ話題作りができています。</p> <p>【今後の展開】 地域の話作りに取り組む。</p>				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
「乗ってからも買える」チケットレスサービス（こうのとりのり）	JR西日本ネット予約「e5489」で、列車・期間限定で列車出発時刻後でも特急券を購入いただけるチケットレスサービスを実施	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】5月15日～3月31日</p> <p>【実施状況・課題】</p> <p>【今後の展開】北近畿方面への特急のご利用増加に向けた取り組みを行う。</p>			●	●	
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】通年</p> <p>【実施状況・課題】「ゆむら灯火の景イルミネーション」を西Navi12月号に掲載</p> <p>【今後の展開】今後も地域から頂いたイベント情報を掲載</p>				●	
持続可能な公共交通体系の構築	県民局が事務局として、課題解決に向けた関係機関との調整や交通連合の構成員や実施業務等の原案作成等を実施。必要に応じて有識者を招いて協議を進める。	—	兵庫県・但馬3市2町・交通事業者			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <p>【期間】令和6年度</p> <p>【実施状況・課題】但馬地域でのキャッシュレス導入(令和7年度～令和9年度)に向けて調整中</p> <p>令和7年度共創・MaaS実証プロジェクト「モビリティ人材育成事業」へ申請</p> <p>【今後の展開】但馬地域における公共交通の利便増進に向けた人材育成業務委託に関する公募型プロポーザルを実施</p>			●	●	

令和6年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業	JRローカル線の駅舎や駅周辺の遊休不動産等を活用し、駅周辺に人の流れや賑わいを生み出す事業者、自治会等の地域団体、学校等の取組を支援することにより、駅周辺の活力や魅力を向上させ、利用拡大を図る。	190千円×2	兵庫県 (市町協調)			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 浜坂高等学校・香住高等学校の2団体を採択</p> <p>【期間】 浜坂：①11月2日(オープンイベント)②11月16日(縁日) ③12月22日(小中学生対象勉強会) ④3月2日(試食会) 香住：①10月31日②11月22日③天候不良により中止④1月24日</p> <p>【実施状況・課題】 浜坂：①約100名②約80名③小学生5名④約40名が来場 高校生の頑張る姿に勇気づけられた、駅前が明るくなって嬉しいと地域の方々からお声がけをいただいた。 香住：①約20名②約30名④約50名が来場 来場者増加に向けて広報の仕方を考えたい。</p> <p>【今後の展開】 浜坂：次年度以降はTOMOSHIBIという拠点から浜坂商店街へも活動範囲を広げ、より全体として駅利用や駅利用者が楽しめる活動に繋がれたらと考える。 香住：光量を増やし、見ても、写真撮影をしても良いものを目指す。</p>					●
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次交通を充実	197千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <p>【期間】 8月3日～11月30日</p> <p>【実施状況・課題】 全体で1,013名の利用があり、多数の鉄道利用に繋がった。</p> <p>【今後の展開】 令和7年度は但馬・鳥取空港と連携することで、大阪・関西万博来訪者や首都圏からの観光客等を地域に取り込み、鉄道利用に繋がるよう取り組む。</p>					●

令和6年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
車両基地見学会の実施	地域住民(子ども)を対象に豊岡駅構内の車両基地見学会を実施	68千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 天候不良により中止</p> <p>【実施状況・課題】 但馬地域内各小学校にチラシを配布し、212名(うち子ども94名)の申込みがあった。</p> <p>【今後の展開】 令和7年度も実施予定であり、開催予備日も含めて検討していく。</p>			●		
【新】JRハイキング造成モデル事業	山陰本線(竹野～居組間に限る。)の駅を起終点とし、山陰本線利用者を対象にしたガイド付きハイキングツアー造成を支援し、同線の魅力向上及び利用拡大を図る。	139千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 麒麟トラベラー、みなとホリデーの2団体を採択</p> <p>【期間】 麒麟・みなと：9月12日～12月14日</p> <p>【実施状況・課題】 麒麟：6回開催し、計25名が参加したことで、プロモーションの基盤ができた。</p> <p>みなと：3回開催し、計7名が参加</p> <p>【今後の展開】 麒麟：英語での外国語ガイドを始め、インバウンドを含めた国内外の観光客の誘客を強化していく。</p> <p>みなと：但馬地域の観光スポットである余部・鎧を加味したハイキング企画を検討していきたい。</p>			●		
JR山陰本線駅カードの作成・配布	JR山陰本線(青谷駅～豊岡駅間)に乗車した人を対象にその区間の駅カード(全24駅)を配布。各駅約900部作成し、観光協会等指定の場所にて配布し、駅カード全制覇+はまかぜ乗車等の条件達成者(先着約300名)にはコンプリート賞を贈呈	481千円 (兵庫県負担)	鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会 兵庫県			●
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <p>【期間】 3月9日～9月30日</p> <p>【実施状況・課題】 約3,900部を配布し、多数の鉄道利用に繋がった。</p> <p>【今後の展開】 本取組をきっかけに、鳥取県との更なる連携を図っていく。</p>					

令和6年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の運行	JR各駅等と観光地を結ぶ1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の継続運行を軸に、主要観光地の2次交通を確保。ガイド無料や観光施設入館無料等、立ち寄り先での特別体験を企画	15,437千円	但馬観光協議会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】利用者：2,300名(昨年度比較112人減少)</p> <p>【期間】4月1日～3月31日</p> <p>【実施状況・課題】但馬外での周知が不足していると思われるため、SNS等を活用したPRが課題</p> <p>【今後の展開】令和7年4～5月の指定日に阪急交通社のツアーへの組み込みを予定しており、例年の同時期より乗車人数の増加が見込まれる。利用者の満足度が非常に高い取組であるため、SNS等を活用した広報活動を行い、「たじまわる」の知名度を全国へ広げ利用者の更なる増加を図っていく。</p>				●	
【新】ひょうごFP地域内連携の強化と情報発信	FPへの取組を契機として観光客を但馬へ誘客し、観光GDPの上昇や公共交通機関の利用促進を図るとともに、地域の持続可能性を高めるため、各FPの地域内連携の強化や情報発信を行う。 芸術文化観光専門職大学と連携したモデルコース作成、学生モニターツアー、観光客行動調査、SNS等による情報発信	3,000千円	兵庫県			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】学生モニターツアーを実施し、体験レビュー及びモデルコース(5コース)を作成</p> <p>【期間】5月1日～3月31日</p> <p>【今後の展開】体験レビューの発信や空港等でのパンフレット配布により、但馬への誘客に繋げる。観光客行動調査の結果をもとに、効果的な施策を実施する。</p>				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
アフターDC・ひょうごFPを見据えた地域内周遊の促進【新】	アフターDCやFPの展開を契機に来但を見込む観光客の2次交通手段の確保や今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、事業費の一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ2次交通の充実を推進	3,000千円	兵庫県			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 【期間】 2月15日～3月23日 【実施状況・課題】 城崎温泉から神鍋高原、出石へ移動できるデマンドバスを推進。期間中は降雪が続き、当日キャンセルが相次いだこともあり、設定した37日間のうち運行実績は5日間となった。 運行主体：全但バス（株） 運行区間：城崎温泉－神鍋高原、城崎温泉－出石の2区間 運行台数：5台 利用料金：1人（4,000円）×3人＝12,000円 2人（2,000円）×2人＝4,000円 3・4人（1,400円）×0人＝0円 5・6人（1,200円）×6人＝7,200円 合計：23,200円 利用者数：11人</p> <p>【今後の展開】 実証運行で得られた結果を基に、本格的なサービス導入やエリアの拡大、内容の磨きあげに向けた支援を行う。</p>				●	
山陰本線駅スタンプラリー	既存の駅スタンプ等を活用したスタンプラリーを実施。両県1つずつスタンプを集めると参加賞、はまかせ乗車、駅前対象施設の利用とそれぞれノベルティを贈呈	500千円 (兵庫県負担)	鳥取県東部地域鉄道 利用促進実行委員会 兵庫県			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 【期間】 12月28日～令和7年4月13日 【実施状況・課題】 約570名の参加があり、多数の鉄道利用に繋がった。 【今後の展開】 本取組をきっかけに、鳥取県との更なる連携を図っていく。</p>				●	

令和 6 年度の取組結果一覧

加古川線WT

令和6年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
<p>【新】 JR加古川線(西脇市駅-谷川駅)維持・利用促進地域協議会の発足</p>	<p>沿線地域住民が中心となり、住民への鉄道利用の呼びかけ、鉄道利用促進事業等を行う地域組織を発足</p>	1,000千円	JR加古川線(西脇市駅-谷川駅)維持・利用促進地域協議会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 6/30 設立会の開催、8/20 横断幕の作成、JR加古川線ル・マルシェ(8/22、3/7久下村夜市、11/3 比也野まつり) 出店、11/24「あつまっ亭感謝祭」の開催、JR加古川線利用啓発チラシの作成・配布等</p> <p>【成果・課題】 組織設立を契機に地元への利用促進活動を推進した。沿線の交通要所など9カ所に鉄道利用を呼び掛ける横断幕を掲出するとともに各地域において鉄道利用促進イベントを実施。沿線住民の意識醸成につながる継続した活動・取組が必要。</p> <p>【今後の展開】 構成する3地域の相互連携を深め、継続的に住民への呼びかけや利用促進に係る取組を進めていく。</p>			●	●	
<p>【拡】 通学定期券購入補助と通学定期券購入者自転車貸出事業</p>	<p>①定期券購入補助 通学定期券を購入する学生に対し購入費の一部を助成</p> <p>②自転車貸出事業(新) 通勤・通学定期券購入者へ自転車の無償貸出を行い、駅からの二次交通の確保につなげる。</p>	<p>①1,582千円 ②3,056千円</p>	<p>①西脇市・丹波市 ②西脇市</p>			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】利用者①61名 ②12名【期間】4月～</p> <p>【成果・課題】 ①昨年度に比べ利用者が増加。自転車通学から電車通学へ変更した利用者もあり、好評を得ている。 ②利用者からは非常に助かると好評を得ている。より多くの方に有効に利用いただけるよう更なる周知が必要</p> <p>【今後の展開】 ①引き続き同制度を継続するとともに、通勤定期券購入者などへの支援を検討し、鉄道の日常利用を促進する。 ②通勤定期券購入者など鉄道利用者で2次交通が必要な方に貸し出し範囲を広げるよう検討を進める。</p>			●		

令和6年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】加古川線利用助成事業	①社会学習利用助成 学校園等が加古川線を利用して行う社会学習活動に対し運賃を助成 ②団体利用助成 団体利用する場合の運賃を助成	①550千円 ②800千円	西脇市・丹波市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】利用者 ①420名 ②379名 【期間】4月～ 【成果・課題】沿線の学校園や一般の団体に補助制度を利用した鉄道利用を進めることができた。今後、この地域で活動の幅を広げていく若い世代や一般の方のJR加古川線への愛着を育むため、より多くの方に制度を利用してもらうことが必要。 【今後の展開】引き続き、多くの方に鉄道を利用してもらうため周知を進めるとともに、より利用しやすい制度となるよう検討を進める。			●	●	
地元自治会等と連携したリレーマルシェ等駅周辺イベントの開催	駅周辺での賑わい創出、加古川線の利用促進を目指し、地元自治会、高校生等と連携したマルシェなどを開催	3,779千円 ほか	地元自治会、県民局等			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】久下村夜市、加古川線カルチャー&フェスティバル等を開催 【成果・課題】地域と連携することで、地域住民をはじめ、多くの方に参加してもらうことができた。さらなる地元意識の醸成につながるよう多くの住民をまきこんだ取組が必要。 【今後の展開】地元意識を醸成し、地元住民等の発意による主体的な賑わいづくりにつなげていく。			●	●	
わが町考え隊事業の推進	hesocityclub代表 堀井氏を中心に、地域活性化策を展開。SNSによる情報発信、各種イベントへの参画やマルシェの開催等	700千円	北播磨県民局 hesocityclub(hcc)			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】リバーサイド楽市への出店（5/12、10/20） マルトリエの開催（2/9、参加者約300名）、SNS等情報発信 【期間】4月1日～3月31日 【成果】地域外の高中生や、大学生の活動参加者も出てきており、徐々にではあるが、特に若者へ活動が浸透しつつある。 【今後の展開】若者や地域住民を巻き込んだ鉄道利用につながるような取組の実施			●	●	

令和6年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
地元高校生デザインの播州織中づくり広告による鉄道利用促進	県立西脇高校の生徒がデザインした播州織中づくり広告の車内掲示による鉄道利用の呼びかけ	400千円	西脇市、北播磨県民局			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 沿線の県立西脇高校の生徒、県立繊維工業技術支援センターの協力により、100周年のキャッチフレーズや駅名称、市のマスコットキャラクター“にっしー”（西脇市）、“ちーたん”（丹波市）がデザインされた播州織中づくり広告を作成。昨年作成した播州織中づくり広告とともに、JR加古川線全車両内に掲示した。</p> <p>【期間】 11.28～12.11</p> <p>【成果】 地元の高中生デザインの播州織を織り上げるという話題性が功を奏し、新聞でも紹介されるなど広く加古川線をプロモーションすることができた。中には入手したいという問い合わせもあった。</p> <p>【今後の展開】 わが町考え隊（hcc）や播州織生産者と連携し、播州織の手ぬぐいなどの開発を進め、加古川線と播州織を絡めた広報戦略につなげる。（2/9のマルトリエにおいて、播州織手ぬぐいの数量限定販売を実施。）</p>			●	●	
【新】加古川線プロモーション動画放映、ポスター掲出	西脇市、丹波市の特産品やお出かけスポットを紹介する広告を近畿地方の駅や車内で実施。	—	JR西日本・西脇市・丹波市			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京阪神エリア各駅でのポスター掲出 ・JR神戸線、JR京都線、JR宝塚線等でのWESTビジョン放映と中づくり広告掲出 ・大阪駅、三ノ宮駅でのJ・ADビジョンWESTの放映 <p>【期間】 12.16～1.31</p> <p>【成果】 駅や車内で通行人にPRできた。その他、市役所やウイング神姫のバス車内でも掲出。</p> <p>【今後の展開】 引き続き沿線地域の魅力を発信し、大阪・関西万博期間中の観光需要増加に繋げる。</p>				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
【新】神戸新聞特集記事	全線開業100周年を迎える加古川線の歴史やその現状について発信する神戸新聞の特集記事。加古川線の運行を支える社員へのインタビューや三上公也アナウンサーと兵庫支社長の対談を実施。	-	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】①「産業、生活支え 地域と歩む」（10月19日掲載） ②「安全運行へ鉄道員奮闘」（11月17日掲載） ③「持続可能な未来へ模索」（12月22日掲載）</p> <p>【成果】読者からは「加古川線100周年を初めて知った」、「一度乗ってみたい」などの反響があった。</p> <p>【今後の展開】沿線住民に対して加古川線の情報発信をして、気運醸成に繋げる。</p>			●	●	
【新】加古川線全線開業100周年記念事業	市・県・JRが一体となって加古川線全線開業100周年記念事業を実施	16,500千円 (ほか)	市・県・JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】100周年記念セレモニー、記念イベント等を実施</p> <p>【成果・課題】 100周年の記念セレモニー、車両ラッピング、ロゴマークやキャッチフレーズ等により100周年をPRし、市・県・JRが連携して利用促進を図った。また多くの方にJR加古川線の存在を知っていただく契機となったが、まだまだ知らない人が多く、更なる取組が必要。</p> <p>【今後の展開】 100周年記念事業で加古川線のことを広く周知できた。これを契機に、引き続き、JR加古川線（西脇市～谷川間）の情報発信、気運醸成を行っていく。</p>				●	
兵庫DCアフターキャンペーン	JR西日本と自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン	-	JR西日本、兵庫県、沿線自治体			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】7月1日～9月30日</p> <p>【成果・課題】 デジタルパスの販売など、JR西日本エリアでの広域的なキャンペーン展開を実施。</p>				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】 駅周辺の活性化に向けた地域団体等との連携	駅周辺イベントと連携した利用促進事業の実施	－	北播磨・丹波県民局 西脇市・丹波市			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <p>①「リバーサイド楽市（日本へそ公園駅）主催：tamaki niime」、「サン・マルシェ（谷川駅）主催：サ・マルシェ実行委員会」と連携し、加古川線利用者にノベルティを配布（5/12 来場者約1,600人、うち鉄道利用者289人）</p> <p>②「リバーサイド楽市」、「でんくうまつり」と連携し、「JR加古川線カルチャー＆フェスティバル」を合同開催。（10/20来場者約4,100人、うち鉄道利用者82人）</p> <p>【成果】</p> <p>地元団体に加古川線利用促進の趣旨を理解してもらい、連携を図ることで、地域住民の鉄道利用の気運を醸成した。他団体との協力により一層のイベント周知を図ることができた。</p> <p>【今後の展開】引き続き他団体イベントと連携した取組を行う。</p>			●		
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	「JRローカル線駅周辺活性化モデル事業」において、駅周辺の賑わい等を生み出す新たな取組を行う事業者等を対象に、事業費の一部を補助（補助率1/2、上限200千円）	200千円	兵庫県、西脇市、 ×2件丹波市			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】レンタサイクル事業2件①比延地区自治協議会、②久下自治振興会） 利用台数 ①3台 ②10台</p> <p>【今後の展開】</p> <p>既に導入している黒田庄地区と、3地区連携レンタサイクル事業の実施検討</p>				●	●
ふるさと納税返礼品（西脇市駅1日駅長体験プラン）	加古川線全線開業100周年を記念して、西脇市のふるさと納税返礼品として「西脇市駅1日駅長体験プラン」を100万円で出品	－	西脇市、JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】2月14日～15日、23日～24日</p> <p>【成果・課題】</p> <p>新聞やネットメディアで取り上げられ話題となったが、申し込み応募は無かった。</p>				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
駅待合室に本貸し出しコーナー設置 （ちーたん文庫の開設）	地元の方の発案で、JR谷川駅の待合室に図書コーナーを開設。図書は有志からの寄贈で図書の管理も地元で実施。	-	久下自治振興会、丹波市、JR西日本	●	●	●
（実施結果・今後の展開等）	【期間】7月8日～ 【成果】 図書数約300冊。幅広いジャンルの図書が揃っており「駅で待ち時間が楽しくなった」などの声が広がっている。					
【新】特急列車を谷川駅に臨時停車する実証実験	<ul style="list-style-type: none"> ・谷川駅で対向列車の待ち合わせのために停車している一部の特急こうのとりに、乗り降りできるように取り扱いを変更 ・加古川線から乗り換えいただける特急列車を増やすことで、加古川線（西脇市～谷川駅）の利用が増加するかどうか検証 	-	JR西日本	●	●	
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】上下6本の臨時停車を実施 【期間】令和6年7月1日～令和7年2月28日					
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている「西Navi」を通じて、地域のイベント情報を発信	-	JR西日本			
（実施結果・今後の展開等）	【期間】通年 【実施内容】下記イベント内容を掲載 1月「新春 アピカ名画座「上を向いて歩こう」@西脇市立音楽ホール 2月「第4回ミュージックベル・トーンチャイム全国コンテスト」@Orinas 【今後の展開】今後も地域から頂いたイベント情報を掲載していく。				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR西日本アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信	沿線でのイベント情報等を、JR西日本アプリ「WESTER」のおでかけ情報に掲載し、誘客を促進	－	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】 通年</p> <p>【実施状況・課題】 加古川線リレーマルシェ「比也野まつり」等イベント情報を掲載（西脇市）スポット7件、イベント6件（丹波市）スポット7件、イベント6件を掲載</p> <p>【今後の展開】 JR西日本としては引き続き、イベント等を通じて、「WESTER」の新規ダウンロード数を増やせるよう努める。</p>				●	
コミュニティバス（おりひめバス）のダイヤ改正	始発バスの出発時刻を早めて、渋滞などによる到着時刻の遅れを少なくし、乗り換えをスムーズにして、高校生等の利用を促進	－	ウイング神姫			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 加古川線のダイヤに合わせて毎日運行。利用者数は1日平均3名</p> <p>【期間】 4月1日～</p> <p>【成果】 バスのダイヤ調整により使いやすくなり、利用者が増加した。</p> <p>【今後の展開】 通学などに有効に利用してもらえるよう周知を進める。</p>				●	
会員企業等へ鉄道利用の呼びかけ	HP等を活用し、会員企業等へ通勤、出張時等での鉄道利用を呼びかけ利用を促進	－	西脇商工会議所、丹波市商工会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】 常時</p> <p>【実施内容】 ホームページ等を活用した会員企業への利用促進の呼びかけ</p>				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
参考：JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会事業						
列車内鉄道絵画展	県内の園児・児童を対象に列車や駅をテーマにした絵画を募集し列車内絵画展を開催	-	交通事業者、商工会議所、市町、県			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 応募769点(うちJR287点)、入賞者14名 鉄道事業者の協力のもと、列車内に作品を展示し、本人、家族等の鉄道利用が図られた。</p> <p>【今後の展開】継続して実施予定</p>				●	
鉄道沿線ガイドの作成	鉄道沿線で開催されるイベント等の魅力情報を掲載したガイドの発行	-	交通事業者、商工会議所、市町、県			●
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 発行年4回（季刊）</p>					
加古川線全線開業100周年 鉄道施設見学会 「JR加古川線 厄神車両基地見学会」	例年、鉄道の良さや魅力を再発見してもらうことで、地域鉄道ファンを獲得し、利用促進につなげるため実施している車両基地見学会において100周年記念として「本物のヘッドマーク抽選会」を実施するなど、特別企画を実施	-	交通事業者、商工会議所、市町、県			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】55組185名 参加 【期間】11月17日 【実施内容】 車両洗淨見学、レールカート乗車、鉄道模型(Nゲージ)の操作、車内放送体験、100周年記念抽選会、マスコットキャラクター大集合など実施</p> <p>【今後の展開】継続して実施予定</p>				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
参考：丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会事業						
モバイルスタンプラリー	久下村駅などの加古川線沿線等を含めた恐竜化石及び篠山層群ゆかりの地をめぐるモバイルスタンプラリーの実施	-	自治体、商工会、観光協会、民間団体等			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】ラリー参加数412名、抽選者数205名、久下村駅スタンプ数46個</p> <p>【期間】11月1日～30日</p> <p>【成果】安定した人気のある取組であり、継続的に実施していく。</p> <p>【今後の展開】更なる参加者増を図っていく必要がある。</p>				●	
恐竜化石&里山体験ツアー【新】	久下村駅を発着点として、恐竜化石発掘現場での学びや里山の環境保全体験ツアーを実施	-	自治体、商工会、観光協会、民間団体等			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】参加者24名</p> <p>【期間】7月25日</p> <p>【成果】1日のみ実施であるが、JR加古川線の利用に繋がった。</p> <p>【今後の展開】継続実施するには利用人員増となる取組が必要である。</p>				●	
グリーンスローモビリティの試験運行の実施	JR加古川線利用者の利便向上を図るため、久下村駅と丹波竜化石工房「ちーたんの館」間で二次交通手段として、グリーンスローモビリティを試験的に運行	-	自治体、商工会、観光協会、民間団体等			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】利用者数102名</p> <p>【期間】9月14日～9月16日</p> <p>【成果・課題】</p> <p>最大運行人員が6名と限定され、走行スピードも遅いため、輸送手段としては活用しにくい面はあるが、人目を惹く形状であり、乗りたいという声は多くあった。</p> <p>【今後の展開】</p> <p>ちーたんの館以外の恐竜スポットと鉄道駅のルートとして、周遊促進を目指す。</p>				●	●

令和 6 年度の取組結果一覧

姫新線WT

令和6年度の取組結果

項目名	概要	予算	実施主体			
				日常利用	観光需要	まちづくり
たつの市姫新線駅周辺駐車場等使用料助成事業	定期乗車券による姫新線利用者の駐車場、駐車場の月極使用料の全部または一部を助成	3,488千円	たつの市			
(実施結果・今後の展開等)	【期間】 通年実施 【実施状況・課題】 申請者数：187名 【今後の展開】 引き続き、広報やチラシで事業周知を図る。			●		
播磨新宮駅照明設備更新	播磨新宮駅構内の照明をLED化	7,000千円	たつの市			
(実施結果・今後の展開等)	【期間】 10月28日～10月31日 【実施状況・課題】 施工完了			●		
姫新線を利用した遠足等のお菓子助成事業	姫新線を利用して遠足等を実施する市内のこども園にお菓子購入代金（1人につき200円程度）を支給	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）			
(実施結果・今後の展開等)	【期間】 通年実施 【実施状況・課題】 園児：119名 【今後の展開】 事業の拡充等検討			●		
たつの市民まつりにおけるPRブースの出店	姫新線クイズや、JR姫新線映像コンテスト入賞作品の上映及び利用啓発パネルを掲示し、来場者に姫新線をPR	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）			
(実施結果・今後の展開等)	【期間】 11月3日 【実施状況・課題】 クイズ参加者：150名 【今後の展開】 ブースへの訪問者を増やすよう更なる工夫を行う。			●		

令和6年度の取組結果

項目名	概要	予算	実施主体			
				日常利用	観光需要	まちづくり
利用促進啓発垂れ幕作成	播磨新宮駅、本竜野駅、市役所本庁及び新宮総合支所にて利用啓発と感謝を伝える横断幕を作成	—	姫新線利用促進・活性化同盟会 (たつの市)	●		
(実施結果・今後の展開等)	【期間】令和6年10月10日～令和7年9月10日 【実施状況・課題】市内4箇所に設置 【今後の展開】引き続きPRを行う					
利用啓発卓上のぼりの作成	沿線の施設に設置し、職員及び来庁者に姫新線の利用促進をPR	—	姫新線利用促進・活性化同盟会 (たつの市)	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施状況・課題】50個 【今後の展開】引き続きPRを行う					
屏風岩・鶴嘴山里公園ハイキング	JR姫新線東鯨崎駅を出発し、因幡街道の宿場町の歴史に触れながら、寝釈迦の渡し・磨崖仏等のスポットを巡る冬の里山ハイキングを実施	—	姫新線利用促進・活性化同盟会 (たつの市)		●	
(実施結果・今後の展開等)	【期間】2月1日 【実施状況・課題】参加者66名 【今後の展開】次回の開催に向け改善点等を協力団体と協議する					
姫新線に乗っていちご狩り&城下町散策ツアー	本竜野駅から「慶いちご農園」へ移動し、40分間のいちご狩り体験後、「下川原蔵あかね」へ移動し、城下町の自由散策を実施	—	姫新線利用促進・活性化同盟会 (たつの市)		●	
(実施結果・今後の展開等)	【期間】5月26日 【実施状況・課題】参加者：39名 【今後の展開】バスを利用せず、駅周辺のスポットでの事業を検討					
オータムフェスティバル協賛事業	姫新線で来場された方に地元特産品と交換できる引換券を配布し、姫新線利用促進と併せて、オータムフェスティバルへの誘客を図る	—	姫新線利用促進・活性化同盟会 (たつの市)		●	
(実施結果・今後の展開等)	【期間】11月23日～11月24日 【実施状況・課題】配布枚数：200枚 【今後の展開】引き続き実施する。					

令和6年度の取組結果

項目名	概要	予算	実施主体			
				日常利用	観光需要	まちづくり
佐用町大学生等通学定期券購入助成事業	町内在住の大学生等の通学定期券購入費用を助成し地域公共交通の利用促進と若者世代の定住促進を図る	8,000千円	佐用町	●		
(実施結果・今後の展開等)	【期間】継続実施中 【実施状況・課題】一部利用されなくなる例もあるが、一定数の利用あり。 【今後の展開】進学先の選択時、自宅から通学を検討してもらえようPRする					
鉄道利用促進のための乗車券支給事業	町内の駅から鉄道を利用する団体（2名以上）に片道分の乗車券を支給	800千円	佐用町	●		
(実施結果・今後の展開等)	【期間】継続実施中 【実施状況・課題】利用者は増加傾向にある一方で固定化の傾向もみられる 【今後の展開】本制度を利用した姫新線乗車に向け取組を検討					
沿線事業所に対する効果的な情報提供と利用意識醸成	駅から徒歩や自転車で通勤可能な沿線事業所に対し姫新線利用のPR及び、鉄道通勤へ転換可能な従業員数や意向調査を実施	100千円	佐用町	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施状況】沿線事業所を含め広く町民に対し、片道切符支給制度の周知等を実施					
高齢者福祉と連携した平日昼間時間帯の利用促進活動	高齢者課題と絡めた鉄道イベントを検討し、平日昼間時間帯の乗車率向上を図る	100千円	佐用町	●		
(実施結果・今後の展開等)	【期間】2月20日 【実施状況・課題】佐用町高年大学においてフレイル予防も兼ねた平日昼間時間帯の鉄道利用呼びかけ。同時に片道切符支給制度の案内を行い、利用促進を図った。					

令和6年度の取組結果

項目名	概要	予算	実施主体			
				日常利用	観光需要	まちづくり
まちづくり会議での鉄道利用促進策の検討・意識醸成	若者も含めて将来のまちづくりを考える「ミライカイギ」を開催し、まちづくりと絡めた鉄道利用促進策の検討、小中学生や高校生等を対象とした意識醸成等を図る	100千円	佐用町			●
(実施結果・今後の展開等)	【期間】5月13日、7月25日 【実施状況・課題】将来の鉄道の存在について話しあい、意識醸成を図った 【今後の展開】鉄道は生活の充実に不可欠なものと位置づけ、継続した利用促進の取組に繋げる					
沿線の高校生による利用促進活動(佐用高校)	生徒による利用促進活動を佐用高校に働きかけ、その活動を支援 例)利用啓発ポスターや横断幕の作成等	—	姫新線利用促進・活性化同盟会(佐用町)			
(実施結果・今後の展開等)	【実施状況・課題】令和6年度JR姫新線駅周辺活性化モデル事業の取り組みとして、佐用高校生が主体となり「新涼みんなの祭り」や「佐用商店街わくわくシルククエスト」を実施。当該取り組みに対する広報等の支援。			●		
佐用町内を巡るツアー	沿線の観光施設を巡るツアーとして、秋期に乗ひろいや周辺の観光施設など秋を満喫するツアーを実施	—	姫新線利用促進・活性化同盟会(佐用町)			●
(実施結果・今後の展開等)	【期間】10月5日 【実施状況・課題】当日は晴天、参加者からは好評 【今後の展開】秋のイベントとして継続実施予定					
県民局職員による「月イチ！姫新線乗車大作戦」の推進	姫新線利用促進策を推進するため、県民局職員に対し、月1回以上の姫新線乗車を呼びかけ	—	西播磨県民局			●
(実施結果・今後の展開等)	【期間】通年実施 【実施状況・課題】出張やプライベートのおでかけ等様々な場面での利用周知 【今後の展開】職員への利用促進継続			●		

令和6年度の取組結果

項目名	概要	予算	実施主体			
				日常利用	観光需要	まちづくり
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	駅周辺活性化の取組を行う事業者、地域団体等に対する事業費の補助	200千円 たつの市 200千円 佐用町 200千円 西播磨県民局				
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】①しんぐうNext、②コバコ株式会社の2団体を採択</p> <p>【実施状況】</p> <p>①意見交換イベント（1月26日 姫新線への思いや将来について意見交換 約30名が参加）及び、イルミネーション事業（12月15日～）の実施</p> <p>②佐用高校生とのイベント事業（9月15日 お祭り 約300名が来場、2月1日～28日 佐用商店街でシルラリー 約50名が来場）の実施</p> <p>【今後の展開】</p> <p>①沿線地域のつながりを生み出し、新たな姫新線の利用促進事業の発展につなげていきたい。</p> <p>②商店街の魅力を発信し、将来的に観光客が姫新線を利用するきっかけづくりをめざす。</p>					
イベント列車の運行（工作体験&金出地ダムツアー）	姫新線と沿線地域の地域資源を結ぶユニークな沿線イベントを実施し、沿線地域外に対する姫新線のPRや認知度向上を図る	425千円 西播磨県民局				
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】 8月25日</p> <p>【実施状況・課題】 参加者（32名）の9割が「また姫新線に乗りたい」と回答</p>					
姫新線で行くフィールドパビリオン体験ツアー（皆田和紙紙漉き体験）	沿線地域のフィールドパビリオン体験ツアーを実施し、姫新線のPR及び利用促進をするとともに、万博開催に向けた機運醸成を図る	212千円 西播磨県民局				
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】 3月22日</p> <p>【実施状況・課題】 参加者18名 参加者アンケートでは「また姫新線に乗りたい」との回答を獲得</p> <p>【今後の展開】 万博開催を契機に県内・外へ姫新線を周知していく。</p>					

令和6年度の取組結果

項目名	概要	予算	実施主体			
				日常利用	観光需要	まちづくり
ドローンレース大会	沿線地域でのイベント実施と姫新線利用来場者へ特典を進呈し利用促進と認知度向上を図る	400千円	西播磨県民局			
(実施結果・今後の展開等)	【期間】1月25日 【実施状況・課題】参加者60名（姫新線利用者8名） 県内外へ幅広く姫新線のPRができた一方、姫新線利用者が少なかった。 【今後の展開】 令和7年度に向け、姫新線利用者増およびにぎわいづくりの仕掛けを検討。				●	
姫新線ランタン祭り	佐用町役場駐車場にて夜空にLEDライトで光るランタンを浮かべて幻想的な雰囲気を楽しむイベントの実施。	545千円	西播磨県民局			
(実施結果・今後の展開等)	【期間】11月30日 【実施状況・課題】参加者500名（姫新線利用者約150名） 地元ケーブルTVによる取材や来場者によるSNS投稿で広い情報発信ができた 【今後の展開】沿線イベントのモデルとして成果を地域活動団体等と共有する				●	
JR姫新線映像コンテスト受賞作品デジタルサイネージ	「JR姫新線映像コンテスト」の受賞作品をデジタルサイネージとして活用	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（西播磨県民局）			
(実施結果・今後の展開等)	【期間】①11月15日～11月29日 ②3月1日～3月31日 【実施状況・課題】①神戸市営地下鉄 県庁前駅の広報ショーウィンドーにて映像を放映 ②姫路駅近くフェスタビルのLEDビジョンにて映像を放映 【今後の展開】今後もさまざまな機会を捉えて姫新線を広報していく			●		
サイクルトレインの実施検討	自転車を折りたたまずに列車の車両に乗せるサイクルトレインの実施に向けた実証実験等について検討	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（西播磨県民局）			
(実施結果・今後の展開等)	【実施状況・課題】関係各所と随時調整を実施 【今後の展開】実施可能性を含めて引き続き検討していく			●	●	

令和6年度の取組結果

項目名	概要	予算	実施主体			
				日常利用	観光需要	まちづくり
姫新線ファンクラブ	SNS「X」の公式アカウントのフォロワーを姫新線ファンクラブの会員とする形式で、姫新線に関する情報を随時発信	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（西播磨県民局）			
(実施結果・今後の展開等)	【期間】1月21日運用開始 【実施状況・課題】同盟会構成自治体の相互協力による積極的な情報発信 【今後の展開】引き続き沿線イベントのPRや観光情報など積極的に発信する			●	●	
会員事業所への姫新線利用呼びかけ	商工会HP、Facebook等のSNS及び会員へのDM発送により姫新線利用の呼びかけを実施	—	佐用町商工会			
(実施結果・今後の展開等)	【期間】通年 【実施状況・課題】姫新線の現状等の説明と利用告知の統一チラシ等が必要 【今後の展開】引き続き姫新線の利用について呼びかけを実施			●		
JR姫新線の利用促進策について検討・実施	岡山県JR在来線利用促進検討協議会内に設置された、JR姫新線沿線自治体と岡山県、JR西日本岡山支社で構成する姫新線WTにて、姫新線利用促進策の検討及び施策を実施	2,000千円	岡山県JR在来線利用促進検討協議会(姫新線WT)			
(実施結果・今後の展開等)	【実施状況・課題】沿線の高校生が対象のアンケート調査の実施及び「姫新線でつなぐ駅前ふれあいまつり」の開催			●		
駅施設へのポスター・チラシ掲出	鉄道利用促進に繋がるイベント等、ポスターやチラシの配架依頼があれば可能な範囲で協力	—	JR西日本及び各自自治体			
(実施結果・今後の展開等)	【期間】通年 【実施状況・課題】駅等で掲出することにより、多くのお客様の目に留まる【今後の展開】今後も可能な範囲で協力			●	●	

令和6年度の取組結果

項目名	概要	予算	実施主体			
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR西アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西アプリ「WESTER」に集約して積極的に情報を発信	—	J R 西日本及び各自治体		●	
(実施結果・今後の展開等)	【期間】 通年 【実施状況・課題】 登録スポット数 7件 登録イベント数 5件 (+1件) 【今後の展開】 JRとしては引き続き、イベント等を通じてWESTER新規会員数を増やす。(2025年2月 会員数1,000万人突破)					
「兵庫デスティネーションキャンペーン(以下、兵庫 DC)」のアフターキャンペーンの取組	JRグループと自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン 大阪・奈良・京都を含むデジタルパスを発売し、幅広く誘客を図る	—	J R 西日本及び各自治体		●	
(実施結果・今後の展開等)	【期間】 7月1日～9月30日 【実施状況・課題】 ひょうご夏の体験デジタルパス(2日間用・3日間用) 発売 ガイドブック、ポスターの配付					
南光ひまわり祭りでのおもてなし(播磨徳久駅・姫路駅)	姫路駅から姫新線利用者への一日駅長(姫路駅)によるお見送り及び、名誉駅長(播磨徳久駅)と佐用町商工会合同のお迎え、案内など	—	JR西日本及び佐用町等		●	
(実施結果・今後の展開等)	【課題】 7月13日～7月28日の土日祝 【実施状況・課題】 臨時精算窓口にて対応した1列車あたり利用者最大24名 本年度のご利用状況を精査の上、来年度実施について検討					
姫新線車内路線図	龍野北高校総合デザイン科生徒による沿線の特産品などをデザインした車内路線図の掲出(2024年度:16回目)	—	JR西日本及び兵庫県立龍野北高校		●	
(実施結果・今後の展開等)	【期間】 通年 【実施状況・課題】 神戸新聞などのメディアに掲載され、情報発信できている 【今後の展開】 来年度も継続					

令和6年度の取組結果

項目名	概要	予算	実施主体			
				日常利用	観光需要	まちづくり
姫新線車内基地ファミリー見学会	<p>運転シミュレーター体験など、車両基地ならではのJRお仕事体験 地元太市の竹を使ってモノづくりを体験 参加者には姫新線を利用することを条件として、会場と駅間で送迎バスを手配。</p>	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（姫路市・JR西日本）	●	●	
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】11月23日 【今後の展開】更なる連携を図る</p>					
沿線イベントに合わせた車両増結	<p>ひめじ浴衣祭り（6/22、23）、新宮花火大会（7/20）、竜野納涼花火大会（8/3）での臨時列車・増結を実施 お盆期間（8/10～8/18）に合わせた車両増結を実施</p>	—	JR西日本	●	●	
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施状況・課題】佐用→播磨新宮 最大76人 播磨新宮→姫路 最大129人 【今後の展開】年末年始も実施予定、来年度実施内容の検討</p>					
利用促進リーフレットの作成	<p>普段鉄道を利用されない住民に向けた、沿線のお出かけスポット、施設と共に、姫新線（播磨新宮～上月）の現状が載ったリーフレット作成</p>	—	JR西日本、姫新線利用促進・活性化同盟会	●	●	
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】3月18日以降 【実施状況・課題】公共施設等に配架 【今後の展開】鉄道をご利用されていない方々への利用促進の呼びかけとして活用</p>					

令和6年度の取組結果

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体			
				日常利用	観光需要	まちづくり
新学期・通学生徒乗車指導	不慣れな新入生が列車による通学を始めることから、ホーム上の安全確保と列車の遅延防止を目的にホームでの乗車指導を実施	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】4月9日～4月16日の平日</p> <p>【実施状況】本竜野駅で徒列整理、分散乗車案内、乗車後車内に詰めてもらう案内を実施 混乱は起きず、普段から利用されるお客様の利便性を確保できた。</p> <p>【今後の展開】 高校生の動向を見て、来年度も実施する予定</p>			●		
森の芸術祭 晴れの国・岡山への誘客促進	岡山県内「森の芸術祭 晴れの国・岡山」への誘客促進として、姫新線（佐用以西）を含む区間を周遊できるお得なきっぷの発売や観光情報誌（西NAVI）での紹介を実施	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】9月28日～11月24日</p> <p>【実施状況・課題】森の芸術祭モリモリきっぷ、tabiwa森の芸術祭2デイパスの発売、ガイドブック、ポスターの配付、姫路駅での宣伝</p> <p>【今後の展開】今後も鉄道の利用に繋がるように誘客機会を宣伝していく</p>				●	
利用実態調査、利用促進活動	乗車駅・降車駅、目的、利用頻度、二次交通等についてのアンケート調査を実施。併せて、兵庫DCアフターキャンペーンパンフレット、ノベルティを配布し、鉄道利用の呼びかけを実施	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】6月17日、18日、29日、30日</p> <p>【実施状況・課題】鉄道をご利用されていない地域の方々への利用促進の呼びかけが必要</p> <p>【今後の展開】昨年度、今年度のご利用実態調査の結果をまとめ、姫新線（播磨新宮～上月）の現状分析に活かす</p>			●	●	

令和 6 年度の取組結果一覧

播但線WT

令和6年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR利用促進補助金（3制度）	①特急はまかぜ利用促進補助金②JR播但線利用促進補助金③遠距離通勤・通学等補助金	10,882千円	神河町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 ①237件②2,037件③320件(8,367千円)</p> <p>【期間】 令和6年度</p> <p>【実施状況・課題】 HPや駅への申請書設置による周知により申請件数、新規利用者確保に取り組んだ。</p> <p>【今後の展開】 次年度は最終年度として効果の検証を行っていく。</p>			●		
長谷駅利用促進事業	「長谷地区の振興を考える会」に長谷駅の利用促進を図るための事業実施を委託	1,200千円	神河町			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 イベントでの播但線利用者：271名</p> <p>【期間】 令和6年度</p> <p>【実施状況・課題】 各イベントごとに播但線利用者には、地区内で利用できる助成券を配布。紅葉ウォーキングでは播但線を利用して移動するため大幅な乗車人数を確保した。</p> <p>【今後の展開】 新規のイベントを検討し更なる利用促進のため工夫をしていく。</p>			●		●
公共交通に対する意識醸成	「公共交通はみんなで守っていくもの」というマイルール意識の醸成に向けた意識啓発に取り組む。公共交通ワークショップ・公共交通通勤ウィーク、地元学生の取組支援を実施	—	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> <p>【期間】 ワークショップ 7月21日・12月22日 通勤ウィーク 10月7日～10月11日</p> <p>【実施状況・課題】 ワークショップ参加者：44名 ウィーク通勤者：延べ322名</p> <p>【今後の展開】 ワークショップや通勤ウィークといった取組、学生の主体的な活動である「ゆめいくプロジェクト」への協力で市民の意識啓発を進めることができた。今後も継続的に実施</p>			●	●	●

令和6年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
公共交通の利用促進	各種助成制度の創設、駅の待合環境整備を通じて、公共交通の利用促進に努める。	—	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 助成制度利用者：533名・11団体 パーク&ライド利用者：384名 【今後の展開】 制度により利用状況に濃淡があるため、広報周知を進める。			●		●
播但線鉄道整備・利用促進協議会の取り組み	福崎町の「ガジロウ」を活用して広報活動や特定期間を「播但線利用月間」として集中的な利用促進を図る予定	—	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 10月 【実施状況・課題】 SNSを中心に大きな反響があった。 【今後の展開】 引き続き広報活動を実施し、幅広い層への浸透を図る。			●		●
特急はまかぜ利用促進補助金 特急はまかぜ利用者専用パーク&ライド	特急はまかぜの利用者に対する補助金及びパーク&ライド駐車場の確保	1,000千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 個人521名・団体8団体・パーク&ライド利用者384名 【今後の展開】 継続して実施する。			●	●	

令和6年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR播但線団体利用促進補助金	播但線の普通列車を4人以上の団体で利用した場合に支給する補助金	108千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 3団体 【今後の展開】 継続して実施し、区長会等を通じて周知を図る。				●	
公共交通通勤利用助成金 (補助金・奨励金)	通勤時に鉄道や路線バスを定期利用している者又は企業等に対して支給する、補助金・奨励金	619千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 10名 【今後の展開】 継続して実施し、企業への更なる周知を図る。			●		
情報発信	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信	—	朝来市			
	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 市公共交通情報誌「あさごナビ」の発行や、市HPを活用し、各種公共交通施策に関する情報発信を実施した。 【今後の展開】 引き続き情報発信を継続する。			●		●

令和6年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
利用促進	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進（市職員による利用促進の取組など）	—	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 通年での通勤、出張での公共交通の利用や、公共交通通勤ウィーク実施による集中的な利用促進の取組を実施した。 【今後の展開】 市民全体の活動となるように引き続き実施する。			●	●	
駅周辺駐車場利用料金助成事業補助金	JR西日本の通勤定期券を購入して鉄道を利用し、市内駅周辺の月極駐車場を利用する市民に対する駐車場利用料金の補助（1か月当たり、上限3,000円）	100千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 2名 【今後の展開】 継続して実施し、更なる制度周知を図る。			●		
新たな移動手段の検討【新】 （デマンド型乗合交通の導入）	市内公共交通の利便性向上と鉄道や路線バスからの2次交通の充実を図るため、市内全域でデマンド型乗合交通を段階的に導入	76,247千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 市内全域で段階的に導入 【今後の展開】 鉄道からの2次交通として、幅広い利用に繋がるよう周知を進める。			●	●	●

令和6年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
和田山駅利便性向上委託事業【新】	和田山駅の南北をつなぐ自由道路の概略設計と和田山駅前ロータリーの利便性向上の検討	15,000千円	朝来市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 概略設計等の実施 【今後の展開】 引き続き事業実施を行う。			●		●
WESTERへの情報集約	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して情報発信	—	JR西日本 各自治体			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 登録スポット数：23件、登録イベント数17件(11月時点：11件) 【期間】 通年 【実施状況・課題】 登録イベント数は好調に増えている。 【今後の展開】 JRとしては引き続き、イベント等を通じてWESTER新規DL数を増やす。				●	
1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の運行	JR各駅等と観光地を結ぶ1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の継続運行を軸に、主要観光地の2次交通を確保。ガイド無料や観光施設入館無料等、立ち寄り先での特別体験を企画	15,437千円	但馬観光協議会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 利用者：2,300名(昨年度比較112人減少) 【期間】 4月1日～3月31日 【実施状況・課題】 但馬外での周知が不足していると思われるため、SNS等を活用したPRが課題 【今後の展開】 令和7年4月～5月、阪急交通社のツアーに組み込みを予定しており、例年の同時期より乗車人数の増加が見込まれる。 利用者の満足度が非常に高い取組であるため、SNS等を活用した広報活動を行い、「たじまわる」の知名度を全国へ広げ利用者の更なる増加を図っていく。				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
兵庫県但馬キャンペーンひょうこと巡る山陰線・播但線の旅	駅と主要観光地のデジタルスタンプラリーの実施及び期間中に但馬をイメージしたキャラクター等のラッピング列車を運行	—	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会 JR西日本		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 参加者：8,825名 【期間】 2月23日～9月23日 【実施状況・課題】 観光地訪問者：39,239名 ユーザー属性：関東28.6%中部12.3%関西43% 等					
兵庫DCアフターキャンペーン	JR西日本と沿線自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン	—	JR西日本 各自治体		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 実績集約中 【期間】 7月1日～9月30日 【実施状況・課題】 デジタルパスやJR西日本エリアでの広域的な展開を実施 【今後の展開】 実績集約中					
銀の馬車道・サイクルトレイン	「銀の馬車道・鉱石の道」の魅力発信を目的としたサイクルトレイン(香呂駅～生野駅)の運行	—	日本遺産「銀の馬車道 鉱石の道」推進協議会		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 参加者：58名 【期間】 10月20日 【実施状況・課題】 60名の応募があり、当日は盛況だった。 【今後の展開】 来年度は別の取り組みを計画					

令和6年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次アクセスを充実	197千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 【期間】 8月3日～11月30日 【実施状況・課題】 1,013名の利用があり、多数の鉄道利用に繋がった。 【今後の展開】 但馬・鳥取空港との連携により、大阪・関西万博来訪者や首都圏からの観光客等を地域に取り込み、鉄道利用に繋がるよう取り組む。</p>				●	
【新】アフターDC・ひょうごFPを見据えた地域内周遊の促進	アフターDCやFPの展開を契機に来但を見込む観光客の2次交通手段の確保や今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、事業費の一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ2次交通の充実を推進	3,000千円	兵庫県			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 【期間】 2月15日～3月23日 【実施状況・課題】 城崎温泉から神鍋高原、出石へ移動できるデマンドバスを推進。期間中は降雪が続き、当日キャンセルが相次いだこともあり、設定した37日間のうち運行実績は5日間となった。 運行主体：全但バス（株） 運行区間：城崎温泉－神鍋高原、城崎温泉－出石の2区間 運行台数：5台 利用料金：1人（4,000円）×3人＝12,000円 2人（2,000円）×2人＝4,000円 3・4人（1,400円）×0人＝0円 5・6人（1,200円）×6人＝7,200円 合計：23,200円 利用者数：11人 【今後の展開】 実証運行で得られた結果を基に、本格的なサービス導入やエリアの拡大、内容の磨きあげに向けた支援を行う。</p>				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】ひょうごFP地域内連携の強化と情報発信	FPへの取組を契機として観光客を但馬へ誘客し観光GDPの上昇や公共交通機関の利用促進を図るとともに、地域の持続可能性を高めるため、各FPの地域内連携の強化や情報発信を行う。 芸術文化観光専門職大学と連携したモデルコース作成、学生モニターツアー、観光客行動調査、SNS等による情報発信	3,000千円	兵庫県		●	
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 学生モニターツアーを実施し、体験レビュー及びモデルコース(5コース)を作成</p> <p>【期間】 5月1日～3月31日</p> <p>【今後の展開】 体験レビューの発信や空港等でのパンフレット配布により、但馬への誘客に繋げる。観光客行動調査の結果をもとに、効果的な施策を実施する。</p>					
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業	JRローカル線の駅舎や駅周辺の遊休不動産等を活用し、駅周辺に人の流れや賑わいを生み出す事業者、自治会等の地域団体、学校等の取組を支援することにより、駅周辺の活力や魅力を向上させ、利用拡大を図る。	200千円×2	兵庫県 (市町協調)			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 寺前駅前銀座商店会・NPO法人あさご創生プロジェクトを採択</p> <p>【期間】 寺前：①10月6日おもてなし事業 ②12月7日～1月10日駅前イルミネーション あさご：①11月16日12月20日イベント参加 ②11月19日生野駅観光情報センター26日井筒屋に設置</p> <p>【実施状況・課題】 寺前：①約400名②12月7日の点灯式に約100名来場 あさご：①イベントで111個販売</p> <p>【今後の展開】 寺前：地域の活性化の一助を担う事業として内容を見直しながら、取り組んでいく予定 あさご：駅に設置していることを多くの方に知ってもらうため、継続的に実施していく。</p>				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】生野高校 「ゆめいくプロジェクト」への協力	生野高校が主体的に取り組む生徒の育成をめざし、地域と協働した探究活動である「ゆめいくプロジェクト」の公共交通班の取組に協力することで、住民主体の意識醸成に繋げる。	—	兵庫県立生野高等学校			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 令和6年度 【実施状況・課題】 市施策の説明や、高校主催のワークショップの参加を通じて、取組の深化に協力した。 【今後の展開】 引き続き協力を行い、住民主体の意識醸成に繋げる。			●		●
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 「生野イルミネーションロード2024」を西Navi12月号に掲載 【今後の展開】 今後も地域から頂いたイベント情報を掲載				●	
【新】はなあかりの運行 (かにカニはまかぜ増結)	臨時特急「かにカニはまかぜ」に沿線地域の工芸品・アート作品を展示した観光列車「はなあかり」を増結	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 運行中 【期間】 1月6日～3月14日 ※木曜日除く。 【実施状況・課題】 新聞やテレビに取り上げられ話題作りができています。 【今後の展開】 観光列車等を通じて、地域の魅力を発信していく。				●	
【新】「ふるさとの光」発見プロジェクト	西日本の6地方新聞社が連携して、地域資源の魅力を発信するプロジェクト	—	「ふるさとの光」発見プロジェクト実行委員会 特別協賛：JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 実施中 【期間】 12月～3月 【実施状況・課題】 朝来市の「銀の馬車道・鉱石の道」や「竹田城跡」など5テーマ24件を「ふるさとの光」に選定 【今後の展開】 特集紙面やサイトで発信していく。				●	